

平成 22 年度 福岡市ごみ減量・リサイクル推進会議

日時：平成 22 年 11 月 5 日(金) 14 時 30 分～

場所：西鉄イン福岡 2 階大ホール

次 第

1 開 会

2 議 題

(1) 座長選出

(2) 福岡市の家庭ごみ減量・リサイクルの取組みについて
(福岡市)

(3) 事例発表：「生ごみたい肥化」の普及・啓発について
(西部環境サポーター倶楽部)

(4) 事例発表：徹底したごみ減量・再資源化への取組みについて
(株式会社 博多大丸)

(5) その他

4 閉 会

○ 配付資料

資料 1 「福岡市ごみ減量・リサイクル推進会議設置要綱」

資料 2 「西部環境サポーター倶楽部の概要」

資料 3 「平成 22 年度 福岡市ごみ減量・リサイクル推進会議構成団体の活動状況」

- ・ 「使用済小型電子機器回収モデル事業」
- ・ 「第 4 回福岡市環境行動賞」

※事例発表等の資料につきましては、福岡市のホームページ
(<http://www.city.fukuoka.lg.jp>) に掲載いたします。

HOME > 市政情報 > 情報公開・公報 > 附属機関等の会議・議事録 >
附属機関等の議事録等 > 環境局 > 福岡市ごみ減量・リサイクル推進会議

福岡市ごみ減量・リサイクル推進会議設置要綱

(目的)

第1条 市民、事業者、行政が一体となってごみ減量及びリサイクルの推進を図るため、福岡市ごみ減量・リサイクル推進会議（以下、「本会」という。）を設置する。

(所掌事項)

第2条 本会は、次の各号に掲げる事項について協議し、その実践活動の推進を図る。

- (1) 本市におけるごみ減量及びリサイクルの推進に関すること。
- (2) 関係機関及び関係団体におけるごみ減量及びリサイクルの行動に関すること。
- (3) ごみ減量及びリサイクルの地域活動に関すること。
- (4) その他ごみ減量及びリサイクルに関すること。

(構成)

第3条 本会は、別表に掲げる委員をもって構成する。

(委員の任期)

第4条 委員の任期は2年とする。ただし、再任は妨げない。

- 2 委員は、任期満了後も後任者が決定するまでは、その職務を行うものとする。
- 3 補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(座長)

第5条 本会に座長を置き、委員の中から互選により選出する。

- 2 座長は、本会を代表し、会務を総理する。
- 3 座長が欠けたとき、又は座長に事故があるとき、その他座長が職務を遂行することが困難なときは、委員のうちからあらかじめ座長が指名する者がその職務を代理する。

(会議)

第6条 本会の会議は、座長が必要であると認めるときに招集する。

- 2 会議の議長は、座長が務める。

(幹事会)

第7条 本会の円滑な運営を図るため、本会に幹事長及び幹事で構成する幹事会を置く。

- 2 幹事会は、座長から指示された事項を審議する。
- 3 幹事会は、幹事長が招集し、委員会の議長は、幹事長が務める。
- 4 幹事長及び幹事は、委員の中から座長が指名する。
- 5 幹事長が欠けたとき、又は幹事長に事故があるとき、その他幹事長が職務を遂行することが困難なときは、幹事のうちからあらかじめ座長が指名する者がその職務を代理する。

(専門部会)

第8条 本会の目的を達成するため、専門部会（以下「部会」という。）を置くことができる。

- 2 部会は、座長から指示された事項について協議し、本会にその結果を報告する。
- 3 部会は、部会長が招集し、部会の議長は、部会長が務める。
- 4 部会長及び部会委員は、座長が必要と認めるものを指名する。
- 5 部会長が欠けたとき、又は部会長に事故があるとき、その他部会長が職務を遂行することが困難なときは、部会委員のうちからあらかじめ座長が指名する者がその職務を代理する。

(事務局)

第9条 本会の事務を処理するため、福岡市環境局循環型社会推進部家庭ごみ減量推進課に事務局を置く。

(その他)

第10条 この要綱に定めるもののほか、本会の運営に関し必要な事項は、座長が定める。

附 則

この要綱は、平成4年8月3日から施行する。

附 則

この要綱は、平成6年2月18日から施行する。

附 則

この要綱は、平成6年8月5日から施行する。

附 則

この要綱は、平成12年6月5日から施行する。

附 則

この要綱は、平成14年6月26日から施行する。

附 則

この要綱は、平成15年8月26日から施行する。

附 則

この要綱は、平成21年4月1日から施行する。

福岡市ごみ減量・リサイクル推進会議委員名簿

平成22年11月5日現在

分 野	氏 名	団 体 名 ・ 役 職 名
学識経験者	浅野 直人	福岡大学法学部教授
〃	阿部 眞也	九州情報大学教授・福岡大学名誉教授
〃	花嶋 正孝	福岡県リサイクル総合研究センター長
〃	阿部 晶 ○	福岡工業大学社会環境学部教授
〃	川上 晋平	福岡市議会議員
〃	黒子 秀勇樹	福岡市議会議員
〃	田中 しんすけ	福岡市議会議員
〃	鬼塚 敏満	福岡市議会議員
〃	宮本 秀国	福岡市議会議員
〃	大森 哲也	福岡市議会議員
〃	久留 百合子	消費生活アドバイザー
〃	帆足 リエ	西日本リビング新聞社 リビング編集総括部部長・総括編集長
市民団体等	竹内 義子 ○	福岡市立小学校長会副会長
〃	熊谷 宜人 ○	福岡市立中学校校長会代表
〃	本多 常忠 ○	福岡市立高等学校長会会長
〃	友枝 文也 ○	福岡県公立高等学校長協会
〃	大浦 純平	(社)福岡市保育協会副理事長
〃	林 國子 ○	(社)福岡市私立幼稚園連盟副会長
〃	山部 政昭	福岡市公民館館長会副会長
〃	矢野 則廣 ○	特定非営利活動法人コンシューマー福岡事務局長
〃	内林 濱子 ○	福岡市七区男女共同参画協議会代表
〃	野中 咲子	(社)福岡市老人クラブ連合会教養文化部長
〃	清永 啓子 ○	福岡市子ども会育成連合会副会長
〃	岡村 憲人	福岡市青少年団体連絡会議会長
〃	永野 繁一	福岡市PTA協議会副会長
〃	吉田 順子	特定非営利活動法人環境みらい塾理事長
〃	野間 瑞紀 ○	環境ISO学生組織えこFIT代表
〃	石川 孝治	東区環境活動連絡会議会長
〃	藤木 孝子 ○	博多区環境関係連絡会議委員
〃	丸尾 佐代子	中央区ごみ減量・リサイクル推進連絡会議会長
〃	橋爪 豊	南区環境活動連絡会議会長
〃	加留部 政義	城南区地域環境活動連絡会議会長
〃	結城 勉	早良区環境活動連絡会議会長
〃	山崎 一	西区環境活動連絡会議会長
〃	青木 武	東区自治組織会長会会長
〃	福山 誠	博多区自治協議会長連絡協議会会長
〃	原田 陽次	中央区自治協議会等代表者会会長
〃	中村 健士	南区自治組織協議会会長

分野	氏名	団体名・役職名
(市民団体等)	小林 昌樹	城南区自治協議会連絡会議会長
〃	結城 勉	早良区地区自治組織協議会会長
〃	篠崎 弘光 ○	西区自治協議会会長
〃	熊谷 知子 ○	東区男女共同参画協議会会長
〃	種田 静江	博多区さわやかスタッフの会会長
〃	糸山 マチ子	中央区さわやかスタッフ会長
〃	林 欣子	さわやかスタッフ南の会代表
〃	河内 眞知子 ○	城南区男女共同参画協議会副会長
〃	畑 明美	早良区男女共同参画協議会会長
〃	井 規子 ○	西区男女共同参画をすすめる会副会長
事業者	外村 弘之	(財)古紙再生促進センター九州地区委員会事務局長
〃	有光 淳一郎	福岡市ペーパーリサイクル協同組合理事長
〃	樋口 隆利	福岡商工会議所
〃	具島 秀男 ○	(社)福岡青年会議所事務局長
〃	松澤 秀俊	福岡県小売酒販組合連合会事務局長
〃	河野 佳文	ガラスびんリサイクル促進協議会
〃	松田 公明	九州硝子壺商業組合理事
〃	細田 佳嗣	スチール缶リサイクル協会事務局課長
〃	内田 收 ○	アルミ缶リサイクル協会事務局部長
〃	近藤 方人 ○	PETボトルリサイクル推進協議会専務理事
〃	日高 哲朗	レジ袋削減三者懇談会・エフコープ生活協同組合法務・管理担当部長
〃	植木 博之	福岡県スーパーマーケット協会事務局長
〃	中川 雅彦 ○	福岡市内百貨店三店会
〃	原 公志	福岡地区商店街連合会会長
行政	山田 裕嗣	福岡市 教育長
〃	松田 純	〃 東区長
〃	酒井 龍彦 ○	〃 博多区長
〃	西平 博利	〃 中央区長
〃	四宮 祐司 ○	〃 南区長
〃	山口 吉則	〃 城南区長
〃	轟田 徹 ○	〃 早良区長
〃	大東 光一	〃 西区長
〃	荒瀬 泰子 ○	〃 環境局長

※氏名欄の○は、21年度の会議以降新たに就任した委員を示す。

[西部環境サポーター倶楽部] の概要

- 設立経緯 福岡市西区生活環境課が募集し開講した『地域環境サポーター養成講座（第2期）』修了生の有志が集まって、「講座で学んだことや、気づいたことを、地域に広めよう。地域活動に役立てたい」と、06年の春 倶楽部を立ち上げました。その後、第3期生・第4期生・・・そしてこの春 第6期生が加わり、現在21人で活動しています。
- 活動拠点 西部3Rステーション（西部リサイクルプラザ）〈西区今宿青木1043-2 Tel 882-3190（呼出）〉
- 活動理念 **Think Globally, Act Locally.**
地球規模で考え、地域（身近な毎日の生活の中）で行動しよう。
- 活動内容
- ① 市内各地で「生ごみ堆肥づくり講習会」を開き、『家庭から出される「燃えるごみ」から、その35%を占める「生ごみ」をなくそう』と訴えています。「生ごみ」がなくなれば、ごみ処理費用の軽減に役立ち、CO₂の排出を抑え、地球環境の保全に貢献できます。講習会では、ダンボールコンポストによる「生ごみ堆肥づくり」のノウハウとコンポスト資基材を提供しています。
09年度は導入編・フォローアップ編合わせて74回の講習会を開き、延べ1,924人に受講いただきました。
 - ② 上記「生ごみ堆肥づくり講習会」の普及・啓発活動の成果を、より確実なものとするため、毎週土曜日の13:00～16:30に「堆肥づくり（無料）相談会」を開き、市民の疑問や悩みに対応し、解決を図っています。09年度は50回開き、延べ167人に ご来場いただきました。（なお、電話による相談が、51件ありました）
 - ③ 毎月第4土曜日10:30～ 「生ごみ堆肥づくり・土曜定期講習会」を西部3Rステーションで開催しています。
 - ④ 「3Rをもっと知ろう」・・・ごみ減量の第一歩は「3R」を理解し、認識することからです。「3R講習会」開催に、力を入れています。
 - ⑤ 「古紙リサイクルボックス」の運営・管理を、会員が交替で毎日行っています。09年度は110,000kg回収しました。
 - ⑥ 地域のイベントや西部3Rステーションの事業に積極的に参加して、倶楽部の存在をアピールするとともに、屋台（飲食物）など出店して、活動資金確保に努めています。
- 受賞経歴
- 1) 07年12月 西区長の“ありがとうカード”「感謝のことば」受賞
 - 2) 08年09月 『第2回福岡市環境行動賞 優秀賞』 受賞
- 今期目標
- ① 完全自立を目指します。
 - ② 「環境活動グループのネットワークづくり」を推進します。
 - ③ 「生ごみ堆肥づくり」の楽しさを倍加させるため、「園芸教室」乃至は「菜園づくり講座」を確立します。さらに、その先の「食育」にも取り組みます。
 - ④ 「生ごみ堆肥づくり」を より普及させるため、必要な資基材が「安価」・「安直」に入手できる（届けられる）体制を確立します。

講習会風景



城南公民館（城南区）



横手公民館（南区）



埴崎南公民館（西区）

平成22年度 福岡市ごみ減量・リサイクル推進会議構成団体の活動状況

団体名	活動状況
(社) 福岡市保育協会	<p>(保育園の取組み)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第5園長研究委員会で生ごみによるたい肥づくり(生ごみの減量)の研修を行い、保育園で取り組んでいる。 <p>(保育園と事務局の取組み)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみの分別、紙類のリサイクル ・コピー用紙の裏紙利用 等
(社) 福岡市私立幼稚園連盟 (弥生幼稚園)	ごみ減量・リサイクルとして、園では、広告紙、カレンダー紙などを利用し、なるべくごみが減るよう子ども達へ指導している。
福岡市公民館館長会	<ol style="list-style-type: none"> 1 公民館だよりに、ごみ減量・リサイクル推進会議の事業を掲載し、住民の意識の高揚を図る。 2 会議や活動の場の提供 (例：廃油でせっけんづくり) 3 公民館講座 〔 例：エコキャンドルづくり、生ごみリサイクル堆肥づくり、古布を利用した わらじづくり 〕
特定非営利活動法人 コンシューマー福岡	<p>会員啓発事業(講習会)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時 平成21年12月11日(金) ・場所 あいれふ7階第3研修会 ・テーマ 「心豊かに楽しみながらリサイクルを」 (新聞紙のカラー広告ページを使ってのコサージュ(ブローチ)の作り方講習会) ・参加人数 20名
福岡市七区男女共同参画協議会 (笹岡校区女性協議会)	笹岡校区女性協議会では、毎年恒例のリサイクルバザーを毎年6月最後の日曜日に実施し、残った衣類でぞうり作りをし、子ども達の夏休みの作品づくりで喜んで頂いている。大人の参加25名、子ども15名(親子)段ボールコンポストに取り組んでいる。(校区ごみ減量推進委員と共同で推進している。)
(社) 福岡市老人クラブ 連合会	<p>老人クラブは、日常的に奉仕・ボランティア活動を推進しており、老人週間を契機に全国一斉「社会奉仕の日」(9月20日)を設定し、平成20年度から従来の奉仕・ボランティア活動に加え、「環境にやさしい活動」を推進している。</p> <p>本市の老人クラブもこの取組みを積極的に取り組んでおり、平成21年「美化活動」(公園・道路等の清掃・草取り)に847クラブ、21,748人が参加し、「環境にやさしい活動」(廃品回収)には、298クラブ、5,416人が参加した。</p> <p>また、日常活動として、多くの老人クラブが、紙類・空き缶・空き瓶の回収等資源回収に取り組んでおり、また、古着を使った布草履づくりを行っているクラブもある。</p>
福岡市子ども会育成連合会	資源物回収を行い、活動資金としている。

福岡市青少年団体 連絡会議	各加盟団体の活動において、資源物回収などの取り組みを行っている。 (子ども会、ボーイスカウト、ガールスカウトなど)
特定非営利活動法人 環境みらい塾	<p>1 「地球環境問題と私達の暮らし」をテーマに毎年、情報啓発誌を発行し、小学生を中心に配布、啓発している。</p> <p>昨年度 つながりさがしノート 3,000部 今年度 「食と環境」カード 3,000部</p> <p>2 エネルギー環境教育の出前講座を小・中・高校、公民館等で開催している。(校区、地域における3Rの具体的な実践について、東吉塚小学校6年生、元岡中学校1年生等)</p> <p>【ごみ減量・リサイクルについてのご意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民(特に子ども達)への啓発としては、リデュース、リユースの2Rを中心に行うべきだと感じている。 ・学校図書館の本の見直しを！ (時代に遅れた古い参考書で調べ学習している子ども達が多く見られた。)
東区環境活動連絡会議	<p>1 第1回東区環境活動連絡会議 (平成22年8月4日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○平成21年地域集団回収等の実績について報告と意見交換 ○校区の環境活動状況等について情報交換 <p><以下予定></p> <p>2 第2回東区環境活動連絡会議 (平成22年11月予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○平成22年地域集団回収等の実績報告の提出について ○施設見学「古賀清掃工場・エコロの森(古賀市)」 <p>3 校区紙リサイクルステーション事業に関する意見交換(平成23年2月予定)</p> <p>【ごみ減量・リサイクルについてのご意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○東区は、地域集団回収が非常に盛んで、平成21年実績でも421団体、回収量8,731トンと7区の中で最も多いようである。今年度も、実施団体や紙リサイクルボックス等の新設が続くなど、地域のリーダーの方々をはじめ、皆様のご尽力に感謝している。 ○しかしながら、東区は人口・世帯数とも増加し続けており、今後もより一層のごみ減量とリサイクルの推進に向けて、校区や団体間での情報交換や研修の機会を設けるなど、活動に取り組んでいきたい。
博多区環境関係連絡会議 (弥生校区ごみ減量・ リサイクル推進会議)	<p>1 平成22年度より、ごみ減量・リサイクル推進会議より別れ、環境推進会議を発足。校区一斉清掃や違法広告物撤去、河川清掃、桜ロード清掃等を中心に活動してもらうようにした。</p> <p>2 ごみ減量・リサイクル推進会議は、リサイクル活動を中心に行い、各町育成会の集団回収の支援を毎月。リサイクルキャンペーン。12月下旬、マルショクの前でピラ配り。10月、視察研修。各学校の友愛セール応援。広報活動「かーるちゃん便り」を年1回発行。環境推進会議の清掃支援等。</p> <p>3 校区紙リサイクルステーションの回収実績</p> <p>平成21年度：25,750kg 平成22年度：15,060kg(現時点)</p> <p>【ごみ減量・リサイクルについてのご意見等】</p> <p>弥生校区は、各町内毎にリサイクルボックスを持っているのと、子育て連の集団回収の数量を合計すると、大きな成果があるのではないかと思う。以前のように、せめて区毎、校区毎の回収量がわかれば、もっとがんばれるかなとも思う。ステーションやボックスがあるからこそ、燃えるごみにされる資源がリサイクルできていると思われる。これからも100gでも1kgでも「もったいない」精神で回収していきたい。</p>

<p>中央区ごみ減量・リサイクル推進連絡会議 (草香江校区ごみ減量・リサイクル推進会議)</p>	<p>1 毎月資源回収実践 2 毎年1回施設見学, 研修参加(リサイクル学習会) 3 「まつり草香江」においてリサイクル品のPRと啓発運動 4 廃油でつくる石けん講座(リサイクル学習会) 5 古布, 使い古しの服でつくるぞうり(リサイクル学習会) 6 生ごみを利用した段ボールコンポストの堆肥づくり(リサイクル学習会) 7 出来上がった堆肥を利用した菜園講座(リサイクル学習会) いずれも10年以上継続 【ごみ減量・リサイクルについてのご意見等】 2について: 施設見学は土日が空いてないことが不満。 4~6について: 種々の問題点, 疑問点等を語り合う, または勉強する場所を開いて欲しい。</p>
<p>南区環境活動連絡会議</p>	<p>1 レジ袋(マイバッグ持参)キャンペーン(横手校区) 2 段ボールコンポストによる生ごみの堆肥化(横手校区) 3 同上の研修会(長住校区) 4 大分県玖珠町と長住との交流で植林後の状況観察と地域の人達との交流(長住校区) 5 南区環境活動連絡会議での各校区の情報交換や施設見学会等 【ごみ減量・リサイクルについてのご意見等】 「長住校区ごみ減量・リサイクル推進会議」は「エコ推進会議」に改称した。理由は環境活動の幅を拡げるため。多くの地域が改称しているようだが, 市の「ごみ減量・リサイクル推進会議」は改称しないのか。</p>
<p>城南区地域環境活動連絡会議</p>	<p>1 会議 H21.6.18 活動報告について, 活動計画(案)について H21.2.19 要綱の改正(案)について, 情報交換 2 施設見学 H21.11.30 水環境館, 北九州エコタウンセンター</p>
<p>西区環境活動連絡会議</p>	<p>西区環境活動連絡会議総会を年2~3回開催。 H21.6.15 西区事業計画及び校区事業計画について H21.9.10 研修「西区から発信! 温暖化対策~私たちにできることって何?~」 情報交換 緑のカーテンについて H22.1.25 事例紹介「姪浜校区環境家計簿の取組みについて」, 「5校区スーパー4店舗レジ袋削減作戦について」 情報交換 エコ発する事業補助金申請書の作成について 来年度の緑のカーテンについて 各校区環境部会の会則について H22.6.23 平成21年度事業報告と平成22年度事業計画について 平成22年度重点取組み事業 1.地球温暖化防止対策の推進(緑のカーテンなど) 2.マイバッグ持参の取組み の2点に決定 研修 「ふるしきは素敵なエコバッグ~3Rのすすめ~」 【ごみ減量・リサイクルについてのご意見等】 家庭生ごみを減量するために, ダンボールコンポストを推進している団体から, 糸島市のようにダンボールコンポスト基材購入費の一部助成や, 光市のようにダンボールコンポスト実施後の完熟堆肥と商品券の交換のようなことをやって欲しいと言われるが, 環境局としての見解は。</p>

中央区さわやかスタッフ	<ol style="list-style-type: none"> 1 毎月1回（基本的に14日）中央区役所職員と共に、区役所の周辺を清掃。（年間11回予定） 2 どんたく広場の清掃に参加（平成22年4月23日，30日） 3 ふくおか安全安心よかまち運動への参加（毎年） 4 ラブアース・クリーンアップ清掃活動への参加（大濠公園，福浜海岸等） 5 ごみ分別クイズ（平成17年度環境市民ファンドで作成） <ul style="list-style-type: none"> ・毎年，環境フェスティバルにて活動 ・要請に応じて，ごみ分別クイズと共に，3Rについての講話実施
さわやかスタッフ南の会	<ol style="list-style-type: none"> 1 平成7年から区役所1階で行っている「さわやか文庫みなみ」は，家庭で不用になった本を集め，「1冊持って帰って2冊お返してください」という活動。会員は週2回交代で本の整理，点検をしている。 2 平成22年3月，ロビーに本棚を2個新設。生活環境課を窓口として，区民から不用本の持ち込みを受け付けている。 3 博多どんたく南区舞台でリサイクルクラフトを指導。（牛乳パックの小物入れ，新聞エコバッグなど） 4 ごみ分別のパネルを作って，公民館などに出前で「ごみの分別クイズ」を実施。
城南区男女共同参画協議会	公民館でペットボトルキャップ，エコバッグの回収に協力。
早良区男女共同参画協議会	<ol style="list-style-type: none"> 1 室見川清掃に各校区から男女共同参画協議会として参加。 2 各町内の公園等の清掃。 3 子ども会とのリサイクルボックスの取組みに協力。
福岡市ペーパーリサイクル共同組合	<ol style="list-style-type: none"> 1 古紙安定回収事業 地域集団回収の実施元請け機関として，回収業者と協力し，約24,875 tの古紙回収を実施。 2 古紙リサイクル事業 清掃工場古紙回収，紙リサイクルボックス回収，定期回収，校区回収事業を実施。約7,539 tの古紙を回収。 3 古紙流通安定対策事業 中国の市場に対し，約1,602 tの古紙輸出を行う。 4 市場調査事業 リサイクル先進事業，新規用途開発に係る調査，研究を行う。 5 一般古紙回収 各組合員の事業活動により，福岡市内の古紙約16.3万 t（推定）を回収し，再資源化に貢献した。 6 事業系古紙受入事業 平成21年度は約1,308 t受入。 7 事業系古紙回収事業 平成21年度は約2,041 t回収。 8 西日本新聞販売店回収事業 西日本新聞エリアセンター内を戸別回収し，約6,332 tを回収。 9 牛乳パック受入事業 福岡市小中学校より約105 kg受入。
ガラスびんリサイクル促進協議会 （日本耐酸壘工業株式会社 福岡工場）	<p>容リ協ルートのガラスビンや独自回収ルートのガラスビンを選別加工し，硝子原料であるカレットを製造し，その他の原料と共に溶解し，新たなガラスビンを生産している。（ビン to ビンのリサイクル）</p> <p>1ヶ月平均カレット生産量，約1,400 t（ガラスビン使用量1,450 t）</p> <p>ガラスビン生産量（1ヶ月） 白 3,300 t，茶 2,700 t</p>

九州硝子壺商業組合	ガラスびん（ビールびん，1.8Lびん）の回収 （酒の小売店，町内の子ども会，自治会）
スチール缶リサイクル協会	<ol style="list-style-type: none"> スチール缶リサイクルに関する啓発パンフレット，PR誌，年次レポート，ポスター等を配布 民間主体回収（集団回収）に関する調査・研究を実施，自治体担当者との研究会を開催。 全国の自治体のごみ減量等の取り組みに関する調査を行い，PR誌に記事を掲載。
アルミ缶リサイクル協会	<p>平成21年度アルミ缶回収協力者表彰で，福岡市南区の障害者支援施設「夢ポケット」を表彰。</p> <p>【ごみ減量・リサイクルについてのご意見等】</p> <p>資源ごみの回収・リサイクルが，ごみ減量につながると思うので，協力をよろしく願いたい。</p>
レジ袋削減三者懇談会 （エフコープ生活協同組合）	<ol style="list-style-type: none"> 組合員の家庭からの容器等リサイクル実績（平成21年度 全県合計） <ul style="list-style-type: none"> 食品発砲トレー 18 t 無店舗用ポリ袋（容器） 74 t 卵パック（A-PET） 5 t 卵パック（モールド） 136 t 牛乳パック 179 t 商品案内（カタログ） 4,103 t <p style="text-align: right;">} トイレットペーパー（PB商品）の原料へ → 販売</p> <ol style="list-style-type: none"> 事業上発生する廃棄物削減・リサイクル実績（平成21年度） <ul style="list-style-type: none"> 店舗の魚アラの飼料化→（財）福岡市水産加工公社 56t提供 店舗の廃食油 →再生利用事業者 6t提供 マイバッグ持参運動の推進 <ul style="list-style-type: none"> 市内4店舗の年度末実績 49.8% →平成22年度末，レジ袋無料配布中止の店を増やす <p>【ごみ減量・リサイクルについてのご意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 今年度下期より，中央区，南区，西区の店舗の食品残さを市内の再生利用事業（登録）者に提供し，食品リサイクルの実施率の向上を図る。 店舗の廃棄物の中で，有用な資源の分別・再生利用を拡大させたい。（雑古紙となる商品のケース箱，PPバンド，商品の入っていたポリ袋等） 店舗で透明容器のリサイクルを開始することを検討中。
福岡地区商店街連合会 （上川端商店街振興組合）	古紙，雑誌，段ボール等の回収を毎日 業者（日本紙料）に依頼し，年間約70t回収。

小型電子機器の資源リサイクルに、 ご協力をお願いします。

回収対象(メーカーは問いません)

- 携帯電話 ※専用のボックスに入れてください
- ポータブル音楽プレーヤー(CD、MD、MP3、カセット)
- デジタルカメラ ● ビデオカメラ
- 電子手帳、電子辞書 ● ゲーム機
- ポータブルラジオ(通勤型) ● ICレコーダー
- ACアダプター、コード、充電器などの付属品



回収対象外



- ドライヤー ● シェーバー ● 固定電話、FAX
- 電球、蛍光灯 ● 乾電池
- 記録媒体(ビデオテープ、CDなど)

家電リサイクル法の対象製品(テレビ、エアコン、冷蔵庫、冷凍庫、洗濯機、衣類乾燥機)およびパソコンは法律に基づいて処理してください。

回収に際しての お願い

- 個人情報(住所、氏名、電話番号)はあらかじめ消去をお願いします。
- 電池は抜いてください。
- 回収した小型電子機器の取り出し、ご返却には応じられません。
- 製品は壊れていてもかまいません。



【お問い合わせ先：福岡市 環境局 家庭ごみ減量推進課 092(711)4346】

ソニー株式会社、福岡市、北九州市が協働で取り組んでいる実験です。

回収ボックス設置協力店舗一覧

■平成22年6月～

[コーナン] めいのはま店

[サニー] 松崎店、舞松原店、八田店

吉塚駅前店、渡辺通店、小笹店

茶山店、七隈店

[ジャスコ] 香椎浜店

[ナフコ] 和白店、多田羅店、福岡空港店

西福岡店

[ハローデイ] 千早店、松崎店、次郎丸店

橋本店

[マックスバリュ] 千早店、次郎丸店

[ゆめタウン] 博多店

[ラ・パレット] 桜坂店

[レッドキャベツ] 干隈店

■平成22年11月～

NEW

[イムズ] イムズ

[くらし館] JR南福岡店

[サティ] 原サティ

[ジャスコ] 伊都店

[ナフコ] 堤店

[マックスバリュ] 福岡空港南店

[マルキョウ] 井尻店、愛宕店

第4回 福岡市環境行動賞

～環境にやさしい行動の波を起こそう!～

エコ・ウェーブ・ふくおか
2010

ECO WAVE FUKUOKA 2010

受賞されたみなさんの取り組みを紹介します



福岡市

最優秀賞(個人)

結城 勉さん

脇山の環境を守るため、率先して不法投棄防止を呼びかけ

ごみの不法投棄による汚染から、脇山校区山間部の河川や地下水などのきれいな水資源を守ろうと、結城さんの呼びかけにより福岡市初となる「不法投棄監視パトロール隊」を平成13年に結成。脊振山系は福岡市の水源であるという認識で、脇山校区の各町内会長とともに不法投棄監視パトロールを、9年間悪天候の場合も毎月欠かさず行うとともに、地域住民による日常的な監視により不法投棄を未然に防ぎ、山の自然を守っている。

また、脇山小学校の環境学習等の講師として授業を行い、環境教育の面でも大きく貢献。授業を受けた子ども達が脇山の自然を誇りに思い、環境を大切にしたいという心が芽生え、通学路のごみ拾いをするようになっていく。この他にも、オイスカでの環境学習など、校区内外であらゆる機会をとらえて環境教育の場を広げている。



最優秀賞(団体)

NPO法人 福岡グリーンヘルパーの会

どんぐりから苗を育て、遺伝子を守る里山づくり



「未来に美しい豊かな自然を残そう」を合言葉に集まったメンバーで、九大伊都キャンパスでの里山保全活動を10年間続け、自然を大切にする心の育成、啓発を行っている。

九大伊都キャンパス内の「生物多様性保全ゾーン」では、増殖した竹の伐採や自然観察路を設置し、樹木への名札付けを行い、地域の子もたちや、その保護者及び学生と下草刈りや田んぼ作りなどを実施。



また、「どんぐりの森づくり」活動として、地域の理解と協力を得て国内でも珍しい自前の「育苗ハウス」で、この地のどんぐりから植樹用の苗木を育て、遺伝子を継承する森づくりを10年前から行っている。

その他、秋のどんぐり拾いや春の植樹イベント、自然体験学習会も開催し、環境教育・学習にも積極的に取り組んでいる。

最優秀賞(事業者)

株式会社博多大丸

徹底したごみ減量・リサイクルの取組と社員教育

紙の使用量削減や、古紙・缶の再資源化、一般ごみの固形燃料化、厨芥類の飼料化等の徹底したごみ減量・再資源化への取り組みで、1日のごみ量は2~4袋程度。

ISO14001を取得し、エネルギー管理の把握や目標設定がなされ、省エネ管理も徹底。

また、常に環境保全の意識を高めるように自社の環境方針を記載した「環境ポケットマニュアル」を全従業員と取引先従業員が携帯し、環境教育もなされている。

ペットボトルキャップを収集し、ポリオワクチン購入費として寄付する活動も実施。そのCO₂削減効果をホームページで公開している。

地域の清掃活動への参加や、店舗周辺の花壇を管理するなど、環境美化にも積極的に取り組んでいる。



ユニークな形のペットボトルキャップ収集BOX



環境ポケットマニュアル

ごみの分割BOX

最優秀賞(学校)

福岡市立南当仁小学校

給食を残さず食べて、ごみ減量!

学校周辺や通学路に田んぼが一つもない場所のため、子どもたちが自然に触れ合える場として、学校内でビオトープや田畑による自然環境教育を行っている。

生徒がボランティアでビオトープの手入れを行うほか、5、6年生による「環境委員会」が田畑や花壇の世話をしており、おやじの会も柵作りや草刈り等に協力し、野菜作りを一緒に実施。米作りは6年間継続し、都会に住む子どもたちにとって貴重な経験となり、環境学習に役立てられている。田畑での米や野菜作りを通して食べ物の大切さを知り、給食の食べ残しをほぼゼロにしている。

また、給食室から出る調理くずをボランティアの生徒が堆肥化するなど、全校が一体となつてごみ減量・リサイクル活動に取り組み、給食室から出る燃えるごみの排出量も1日8袋から1袋程度に減らすことに成功している。子どもたちの環境意識は高く、みんなが率先して行動している。



優秀賞(個人)

青木 吾平さん

毎朝の地道な清掃で活動の輪を広げる

30年以上にわたり、西区橋本八幡宮参道と八幡宮周辺の清掃活動を毎朝欠かさず行い、地域の美化を保っている。

町内の住民も影響を受けて、毎週日曜日の朝に清掃活動を行うようになり、環境活動の輪を広げている。

町内の手本となる人であり、町内の住民の環境美化に対する関心が高まっている。



優秀賞(個人)

牛尾 昌義さん

ふるさとの自然を大切にしたいとの思いから生まれた冊子が好評

金武を中心とした西区の自然を写真と文章で紹介する冊子「ふるさと自然つれづれ記」と、写文はがき「ふるさと自然物語」を自費で制作・発行し、自然の大切さを地域に広めている。

制作物は好評を得、公民館や地元金融機関等に寄贈し、環境保全の大切さの意識向上につなげている。

希少動植物の保護・育成や、自然環境に関する講演や写真展、自然工作等の指導も行い、様々な形で地元の自然を広く紹介している。



金武中学校での授業

優秀賞(個人)

染井 良子さん

風呂敷活用講習会を開催し、レジ袋削減に貢献

風呂敷活用術の講師として様々な場で講習会を開催し、他団体とも連携するなど、レジ袋削減を広く呼びかけている。

また、地域清掃と花いっぱい運動で、西区姪浜駅前広場とその周辺道路の環境美化に努めているほか、緑のカーテンや環境家計簿の普及活動も行い、地域住民の地球温暖化防止の意識向上に貢献している。



優秀賞(個人)

高城 和義さん

地道な活動で松原の保全と環境美化に尽力

西区大原地区の松林の清掃、雑木切り、下草刈り、植樹苗の手入れなどの松原保全活動を5年間続け、松林の美化と自然環境保護に貢献。

「今津松原を守る会」の副会長として団体の活動も行っているが、ほぼ日常的に広範囲にわたり個人で保全作業を行っている。

活動の効果でごみの不法投棄がなくなり、見通しのよくなった松原が防犯対策にもつながっており、地域住民からも大変感謝されている。



優秀賞(個人)

三宅 弘行さん

ごみ減量や環境美化に貢献

地元老人クラブで管理している紙リサイクルボックスの管理責任者として資源回収活動を行っている。回収量も順調に伸び、老人クラブの他の会員も積極的に活動に参加するようになってきている。また、公園の清掃と巡回を行って公園の美化に貢献し、その影響で地域住民も自宅周辺を掃除するようになり、環境活動の輪を広げている。清潔で明るい安心安全な公園づくりを行い、住民に感謝されている。



優秀賞(団体)

エコサークル・ベスタ

分かりやすく、楽しく学べる3R講座など多彩な催しを企画・開催

西区役所での環境講座受講をきっかけに自らノウハウを学び、様々な環境啓発イベントや環境講座を開催。活動5年目の今では地域の環境団体として重要な存在になっている。環境講座は参加者が楽しみながら環境について知ることができるように工夫して企画・実施され、多彩な内容で幅広い年齢層の参加があり、環境活動実践へ結びついている。



優秀賞(団体)

環境共育を考える会

荒れた山林を手入れし、里山の大切さを訴える

久山町にある東部埋立場周辺の里山で森林ボランティア体験、林業体験、棚田保全活動イベントを永年にわたり実施。参加者・メンバーの8~9割が福岡市民で、森林保全の大切さの理解を深めている。森と人との関係や、森林の手入れの必要性を体験を通して伝え、環境にやさしい生活の実践を参加者が行うようになるなど、啓発につながっている。



優秀賞(団体)

高取校区ごみ減量リサイクル推進会議

地域で協力し合い、クリーンなまちづくり

16年間にわたり、校区住民による町内一斉清掃「クリーン高取デー」を月1回実施。平成5年からの参加者累計は2万人を超え、校区内の美化に貢献している。また、近隣の飲食店から廃油を提供してもらい、小学校の給食の牛乳パックを使って廃油石けん作りを行っている他、環境学習のための施設見学や講習会など地域住民向けに様々な事業を行い、環境意識の向上に努めている。



講習会の様子



廃油石けん作り



クリーン高取デー

優秀賞(団体)

横手エコる菜園クラブ

子どもたちと一緒に生ごみ堆肥を使った菜園づくり

地域の協力や横手小学校との連携により、小学校内で生ごみ堆肥を作り、校庭の畑での野菜作りに活用している。学年ごとに1台ずつコンポスト化容器を設置し、給食の食べ残しや、地域で集めた生ごみで堆肥づくりを行っている。

生ごみ堆肥で育てた野菜や藍を使って、料理教室や藍染め教室などを開催する他、ダンボールコンポスト講習会や環境に関する様々な勉強会を実施している。



優秀賞(事業者)

株式会社岩田屋三越

※表彰内容は、経営統合前の株式会社岩田屋の取組内容です。

従業員の意識向上のための工夫した取り組みでエネルギー使用量を削減

社内に省エネ組織を設置し、部門毎に担当者の配置や目標設定を行い、エネルギー使用量の把握をすることで、省エネ効果が現れている。

エネルギーや紙の使用量は全従業員が情報共有し、省エネへの意識が高まりリサイクル率も向上している。

定期的に地域清掃にも参加している他、eラーニングを活用した教育・啓発により、従業員の意識向上へ繋がっている。



LED照明を使った地下通路



社内ネットによる
情報共有

優秀賞(事業者)

ドコモサービス九州株式会社

社員の高い環境意識で温暖化対策に貢献

ISO14001を取得し、エネルギー使用量の管理や目標設定がなされ、従業員一人あたりのエネルギー使用量の削減に繋がっている。

ほぼ全ての古紙の再資源化を行い、事務用品のグリーン購入にも取り組んでいる。

事務所内の様々な箇所に「環境掲示板」を設置し、部署毎の紙使用量等を掲示することで、従業員の意識啓発を行っている。その他、地域清掃や花壇・植栽による環境美化活動を行っている。



環境掲示板



地域清掃にも参加

優秀賞(学校)

専修学校麻生ビューティーカレッジ

生徒の発案による毎朝の清掃で街も心もきれいに

平成14年度の学校創立より約9年間、生徒の発案により学校周辺の清掃を毎朝行っている。

清掃を行うことによって生徒の環境美化への意識が高まり、校内清掃も行き届くようになったり、学校周辺の企業等も清掃活動を行うようになるなど、活動の影響力も大きい。

長年継続した活動で環境教育効果をあげ、地域へ貢献している。



特別賞(団体)

脇山校区不法投棄監視パトロール隊

福岡市初の不法投棄監視パトロール隊

校区の不法投棄監視パトロールとごみの回収を、悪天候の場合でも毎月欠かさず実施し、9年間継続。毎月のパトロールは12人の隊員で行っているが、それ以外にも校区住民が不法投棄を発見のつど通報し、校区一体となった常時監視体制により効果をあげている。

また、小中学生対象の環境学習を受け入れ、環境教育の面でも貢献している。



パトロール車に積まれた不法投棄物



警察と連携して活動

奨励賞

(敬称略・区ごとに五十音順)

表彰状 個人(4名)

- [東 区] 川口 仁三郎
- [中央区] 安福 彰子
- [南 区] 因 孝義
- [早良区] 藤河 次宏

表彰状 団体(5団体)

- [東 区] 舞松原栄寿会
- [南 区] リサイクルBOX上臼佐2区
- [早良区] 金屑川を愛する会
- [西 区] 周船寺校区男女共同参画をすすめる会/名柄川を守る会

感謝状 個人(38名)

- [東 区] 上床 久/小田 祐二/柿本 サタエ/北園 恵子/北村 光子/新川 宏輔/徳市 百合子/中島 雅夫・中島 光子/吉住 志朗
- [博多区] 沖 喜美雄
- [中央区] 大音 富美枝/木山 綾子/伴仲 一郎
- [南 区] 石橋 英治/川上 幸憲/竹重 利晃/中山 一磨/明利 弘治/森藤 知賀子/山崎 慎男/吉田 和子
- [城南区] 大楠 満
- [早良区] 赤瀬 明治/浦塚 貞之/貝木 ミサ子/篠原 ヤエ子/原田 政信/東原 俊明
- [西 区] 稲葉 由寿/井上 忠次/大浦 宗則/後藤 シズカ/高橋 純子/辻 信子/濱 武蔵/堀江 敏子/松川 幸子/分部 保

感謝状 団体(16団体)

- [東 区] 香椎下原校区石坂1区町内会/白浜青葉会/特定非営利活動法人どうぶつ村/美容室 art inn/福岡市立菅松小学校/和白東3丁目子ども会育成会/和白東レインボークラブ連合会 第二高寿会
- [博多区] 三筑校区自治協議会/美野島校区衛生組合連合会
- [中央区] 薬院の環境を守る会
- [南 区] 樋井川3丁目2区子ども育成会
- [城南区] 堤地区樋井川6丁目2区自治会「はつらつ会」
- [早良区] 飯倉3丁目1区自治会/有限会社 サムロック
- [西 区] 勸進原倶楽部/周船寺校区自治協議会不法投棄パトロール

福岡市 環境行動賞 とは

環境にやさしい都市の実現を目指し、福岡市における環境の保全・創造に高い水準で貢献し、顕著な功労・功績のあった個人・事業者等を表彰する制度です。

先進的、斬新的及び継続性に富んだ環境保全活動を実践している市民・団体及び企業等を顕彰し、広く市民に公表することにより、環境保全に関する市民の関心がより一層深まり、活動の広がりにも寄与することを目的として、平成19年度に創設しました。

○大賞

○最優秀賞

○優秀賞

※特別賞

特定の分野での取り組みに著しい功績が認められる場合は特別に表彰する。

【選考方法】

自薦・他薦による応募内容を、書類審査及び必要に応じて実地調査を実施のうえ、学識経験者等で構成する選考委員会において選考。

○奨励賞

表彰状：過去に感謝状を授与され、その活動を8年以上継続して取り組んでいる個人・団体。

感謝状：環境活動に3年以上継続して取り組み、他の模範となる活動をしている個人・団体。

【選考方法】

区からの推薦により、選考委員会において承認。

福岡市環境局 環境政策部 環境政策課

〒810-8620 福岡市中央区天神一丁目8番1号 TEL:092-733-5381 FAX:092-733-5592

【福岡市 環境局ホームページ】 <http://kankyo.city.fukuoka.lg.jp/>

発行/平成22年11月 デザイン/鶴ビンスファクトリー

